



vol. 56

令和4年(2022年)2月24日発行
里親だより編集委員会

執筆者の皆様「私のヒーロー・ヒロイン」
をお聞きしました。コメントも最後に掲載
してありますので、お見逃しなく！

私のヒーロー・ヒロイン
エリック・ハイデン

1 長野県里親大会・里親研修会の報告

飯田児童相談所管内里親会
事務局 小林 敏

第61回長野県里親大会・里親研修会が、11月7日に飯田合同庁舎講堂において、会場来場者と動画視聴者を合わせて100名を超える参加者の下、里親表彰、行政説明、子育て講演等について開催されました。



講師の岩崎美枝子さん

5年に1度の周り順であるとはいえ、飯田児童相談所管内里親会が当番となり、無事開催出来たことに安堵しております。特に今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催方法についても従来の会場開催だけでなく、オンライン（ユーチューブ配信）の導入を行い、無事配信されるのかどうか気が抜けないう状況でした。また当初予定していた市内の公民館が、選挙投票日に重なった場合は使用不可となることから、急遽、合同庁舎講堂に会場変更したこともあり心労は大きかったです。

そんな心配をよそに大会は問題なく進行され、大会後の皆さんのアンケートでも大会運営に対して高い評価をいただき、特に家庭養護促進協会の岩崎先生の講演は、「とても分かりやすく勉強になった」、「体験談を取り入れて話をしていただき身に染みて聞けた」、「子育てに関係するすべての人に聞いていただきたい」等のご意見を多くいただきました。

また、オンライン（ユーチューブ配信）の導入についても、「今後の大会でも実施してほしい」、「遠くの会場に行けなくてもこのような方法なら参加できるので良かった」との意見を多くいただきました。予算がかかることがネックではありますが、今後も導入を検討していただきたいものです。

なお、今回、里親会及び里親支援専門相談員の発案で皆さんに配られた「マスクチャーム」も好評で、「水引のまち飯田」のアピールが出来たのではないのでしょうか。最後に、大会運営に携わっていただいた多くの皆様へ感謝をしまして、大会報告といたします。ありがとうございました。

2 高校卒業にあたって

この春、高校を卒業する里子さんから、これまでのこと、これからのこと、後輩の里子さんへのメッセージなどをお聞きしました。

●市川理子さん



私のヒーロー・ヒロイン
高校の先生たち

私は3月に高校を卒業後、福祉学や心理学を学ぶために大学へ進学します。この進路を決めたきっかけは、私が親族里親家庭で生活していて、中学生時代に「里親とは…？」と疑問に思い、納得するまで調べ尽くした結果、福祉や心理に強い興味を惹かれました。そして、これらをもっと深く学び、様々な環境に置かれた若者やその家族の支援をしたいと考えるようになりました。

そして高校に進学後、家の近くの社会福祉学部がある大学へ進学する事を決意しました。進学を考えたとき、お金に関する事が一番不安で大変でした。民間の給付型の奨学金がありますが、様々な書類の作成が山ほどあり、募集人数も少なく、申し込めば必ず採用されるものではないうえに、奨学金の給付は大学入学後なので、入学金や授業料、必要物品の支払いなどには間に合わないのです。また、高校3年の受験対策だけに集中したい時期と奨学金の申し込み時期が重なってしまうという、今思い出すと「あの頃、良く生きてたな」というくらい大変な受験期でした。ありがたいことに、高校の先生たちに何度も助けてもらって乗り越えることができました。

私がこれまでやっておいて良かったと思う事は、自分が「この人なら頼れる」と思った人に相談することや必要な情報を集めて早くから予定を立てる事です。受験と並行しての奨学金の申し込みには想像以上の時間と労力が必要でした。前もって情報を集めて、ある程度の予定を組む事で少しですが心持ちが軽くなると思います。

これを読む人の中には、今後、就職や進学をする学生もいると思います。もし壁にぶつかっても支えてくれる人は必ずいます。自分の人生を楽しく充実に大切に、頑張ってください。



● Aさん



私のヒーロー・ヒロイン
大勢！

Q. 進路は？

保育士の資格が取得できる専門学校にいきます。

Q. それを決めた理由を教えてください

児童養護施設で生活していたときに、どのような時でも真剣に話を聞いてくれたり優しく接してくれる保育士さんに憧れて、自分も保育士になろうと思ったのがきっかけです。専門学校を卒業後、児童養護施設ではたらかないと考えています。

Q. これをやっておいて良かった、と思うことは？

進学するためにはいくら必要なのかを考えて資金計画を立てました。まず、学費、食費、通信費、通学費、水道光熱費、寮費、医療費などそれぞれいくらかかるかを調べて、次に、今の自分の貯金額をみて最終的にいくら足りないのかを計算しました。やはり自分の貯金額では足りないことが分かったので、いくつかの給付型奨学金を申請して補うことにしました。私は6つほどの奨学金を申請しました。そして進学先には特待生制度（学費一部免除）があることを知り、その制度を利用した受験を受けました。

Q. これをやれば良かった、と思うことは？

自分のお金の使い道が荒かったため、そして一時期バイトをしていなかった時期があり資金計画の予定よりも貯金額が少なく切羽詰ってしまったので、資金計画を立てた時点で、銀行の通帳やカードを里親さんに預けたり、節約したりしておけばよかったと思います。

Q. 後輩たちへのメッセージをお願いします

私は、なかなか自分の思っていることや考えていることを里親さんに伝えることが得意ではなく何度もぶつかり大喧嘩しましたが、直接言えない場合などは紙に書いて伝えたり、児童相談所に相談したりして何らかの形でも気持ちを伝えてみるのが大事だと思います。

3 若者パワーで開催した知行塾サロン→引き続き若者パワーで里親さんと一緒に考え成長していく里親サロンを目指して！

善光寺大本願乳児院
里親支援専門相談員 上石 雅代

私のヒーロー・ヒロイン
マイヤ・プリセツカヤ

当院の敷地の中に「知行塾」というお堂と善光寺大本願のお上人様の控えの間からなる建物があります。お堂は歴史も古く以前のままの建物を維持しておりますが、控えの間は10数年前に建て替えをしております。その際、ゆくゆくは地域や、乳児院の役にたてるようにとの思いも詰まった建物でございます。

建て替えられた時から、年に数回、地域のお子さんを募り、夏はプール、秋は制作、冬はリース作りなどをする「知行塾サロン」を開催してました。

しかし、ここ数年は地域の参加者の減少や、新型コロナウイルスの影響で開催を中止しておりました。そのような状況の中、今年は当院から措置変更され、現在家庭で生活している「里親子さんをお誘いして知行塾サロンを開催しては」と若い職員からの提案があり、企画から実施まで若者パワーで里親子さんとの楽しい時間を持つことができました。今回はその時の様子を写真も交えてご紹介したいと思います。

10月29日
「絵具遊びをしましょう」

知行塾サロンのお知らせ

こんにちは！乳児院で保育士をしています。土曜です、コロナで大変な時期は育児が難しく感じます。夏の知行塾サロン楽しみにしていただいていたのに延期になってしまってますが申し訳ありません。改めて絵具遊びを考えたので遊びの予定を立てさせていただきます！


絵具遊びをしましょう！

日時 10月29日(金) 10:00～12:15
場所 善光寺大本願乳児院 知行塾
持ち物 待たせていただきますのでお越しください！

日程
10:00～ おんであやつゆを食べよう (スニート着せ方を教えます！)
10:40～ 外で絵具遊びをしよう (汚れてもいい服乳児院で用意します)
11:10～ お昼食べ
11:15～ 手作り紙飛行機で飛ばそう
11:45～ おんであやつゆを食べよう

※雨天や気温が低い場合は室内で絵具遊びをします。

に会えるのを楽しみにしています！




知行塾サロンのお知らせ

11月25日
「お店屋さんごっこで遊ぼう」


こんにちは！乳児院の土曜です。先日お遊びに来ていただいたお友達もたくさんいました！来月の行事もご予定いただいております！今回はお店屋さんごっこを予定しております！お待ちしています！

日時 11月25日(木) 10:00～12:15
場所 善光寺大本願乳児院 知行塾
持ち物 物にお持ち参りのご予定でお願いいたします！
実物が食べたい物以外でのご予定でお願いいたします！

日程
10:00～ お店屋さんごっこ(外に用意する予定はなし)
お店屋さんごっこをもちろて食べよう
両方したあやつゆが食べたい！
10:45～ おもちゃで遊ぼう
11:10～ クラスの製作をしよう
11:40～ お昼を食べよう

雨天時は知行塾内で実施予定です。

に会えるのを楽しみにしています！




なかなか書面上でお伝えすることは難しいですが、少しでもサロン時の様子を感じていただけたら嬉しいです。また、この知行塾サロンを通して当院の若手職員が、里親さんに「養育のバトン」を渡した子供さんたちの成長した姿や里親さんたちの愛情深いかわりに触れられたことは、本当に貴重な経験となりました。この経験をもとに来年度以降も若者パワーで里親さんに教えていただきながら、当院の新しい里親サロンで里親子の皆さんと楽しい時間を持つことができたら幸いです。当院の若手職員の奮闘ぶりをまた機会がありましたらお伝えします。

4 イベント「里親さんを知る日」

私のヒーロー・ヒロイン
キャンディ
(キャンディス・ホワイト)

松本赤十字乳児院
里親支援専門相談員 鎌倉 美枝

松本赤十字乳児院は10月3日、「里親月間」に合わせて里親制度を啓発するイベント「里親さんを知る日」を同市内イオンモール松本で開催しました。

このイベントでは、県や自治体と共に支える「コミュニティ・ファミリー・パートナー（養育里親）」を紹介するチラシやマスク、ティッシュをセットにして配布しました。



会場スペースでは「里親ってなあに？」の絵本の主人公たちのパネルや制度説明のパネル等を並べ、松本児童相談所の職員や中信地区里親会の皆さんと一緒に広報啓発に取り組みました。マスク姿で登場した長野県PRキャラクター「アルクマ」が、お子様たちと記念写真を撮るなど、応援に駆けつけてくれました。



多くの方が里親さんを知るきっかけとなるイベントになりました。



「赤十字 NEWS」に掲載されました

長野県 「地域の子は地域で育てる」商業施設で里親制度を啓発

松本赤十字乳児院は10月3日、里親制度の啓発イベントを松本市の商業施設で開催しました。10月の里親月間にあわせて行われた事で、親元で暮らせない子どもを一般家庭と同様に養育する「養育里親」や「養子縁組里親」といった制度の概要をパネルで解説。里親家庭を自治体とともに支える「コミュニティ・ファミリー・パートナー」を紹介するチラシも配布しました。



※イベントの様子は松本赤十字乳児院ホームページ「里親ってなあに？」にアップしています。ご覧ください。

右のQRコードからどうぞ⇒



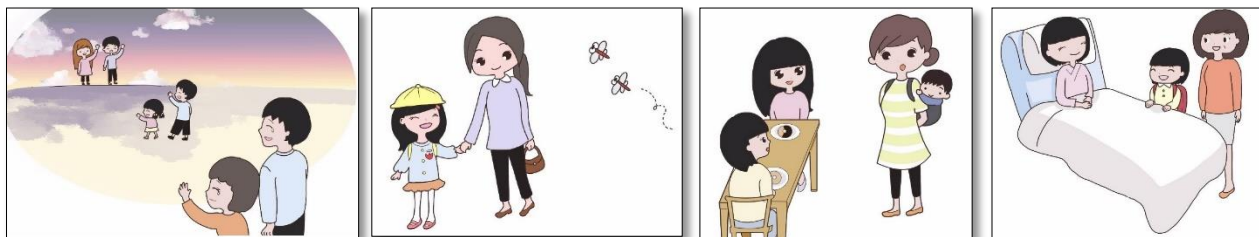
5 オリジナルDVDを作りました！

諏訪児童相談所
片倉 宜子

私のヒーロー・ヒロイン
トイストーリーの
ウッディ

今年度、諏訪児童相談所では里親制度を紹介するDVDを作成しました。この企画は「里親が見える形で地域に知ってもらいたい」という一人の里親さんのつぶやきから始まり、伊那市の広報番組（い～なチャンネル）での放映、DVD収録ができました。一番悩んだ構成では、番組作りに詳しい里親さんから「番組を見て『まずやってみよう』と興味を持ってもらえる内容にしたほうがいい」「制度説明は短く」など様々な助言をいただき、管内の里親さんから募集した体験談を紹介し、残りの時間で私とつつじが丘学園の宮尾里親支援専門相談員がQ&A形式で制度を紹介するという構成としました。

里親さんから寄せられた体験談はどれも情景の浮かぶ温かい内容で、その体験談につつじの職員さんがとても素敵なイラストを描いてくれました。Q&Aの内容も、当所の宮下心理司に番組司会者役になってもらい、何度もロールプレイをして整理したので分かりやすいものにできたと思います。また、DVD収録、複製は伊那市秘書広報課の中山さんが協力してくれました。こうして振り返ると、DVDはたくさんの人の温かい協力で完成できました。



このような企画は私にとって初めてのことで、作成中は戸惑うことも多々ありましたが、多くの方と一緒に考え取り組む過程は、たくさん励まされパワーをもらう貴重な経験になりました。ありがとうございました。

また興味がある方は youtube 「い～なチャンネル 里親制度」で検索してみてください。

6 初めての企画イベント「進路をどうする？」

中央児童相談所
柳田 和美

私のヒーロー・ヒロイン
小田和正

2月5日に県内の里親やファミリーホームで生活する中高生を対象として、進路を考えるオンライン相談会「里親家庭出身の奨学生と一緒に考えよう 進路をどうする？」を開催しました。この相談会は、昨年6月に参加したオンライン研修会をきっかけに知り合ったPMJフォスターファミリー奨学助成事務局の方と、共同企画として8月から打ち合わせを重ね、初めて里子さんへ向けた相談会として開催したものです。

共同企画したPMJフォスターファミリー奨学助成事務局とは、関東甲信越と静岡の里親・ファミリーホームで暮らす子どもたちの高校卒業後の進学を支援する給付型助成制度を実施

長野県中央児童相談所とPMJファミリー奨学助成事務局の共同企画
里親家庭出身の奨学生と一緒に考えよう
進路をどうする？ オンライン相談 参加無料

里親家庭やファミリーホームで暮らした先輩奨学生から、進路を決めたきっかけやその後の取り組みなどを聴いて、一緒にこれからのことを考えてみましょうか？

対象
・里親家庭やファミリーホームで暮らした中学生・高校生
・里親、里親家庭出身の奨学生
・奨学、奨学支援に関わる関係者（第1部のみ）

目的・開催方法など
・2022年2月8日（土）13:00～14:30（約1時間）
・オンライン開催
・参加費・費用
・奨学助成費・奨学支援費は別途お支払いが必要です。

申し込み方法
・お申し込みコードを照らし、Googleフォームでお申し込みください。
・参加アンケートにもご参加ください。
・Googleフォームが利用できない方は、メール、郵便またはFAXで、申込書（別添）をお送りください。
・申込書（別添）は、お申し込み後、事務局よりお送りいたします。
・申込締切日：1月14日（金）

お問い合わせ先
・長野県中央児童相談所 家庭支援課 奨学推進係
〒260-0872 長野県長野市高島町282-2
TEL: 0268-9303（機密） FAX: 0268-9305

Googleフォームのリンク先は、こちらへ

している団体で、2008年に創設されてからこれまで65名へ支援を実施しており、うち45名がすでに卒業して社会人として活躍されているそうです。

相談会は2部構成として、第1部は里親や関係機関も聴講できる形で、3名の先輩奨学生が中学から高校卒業までの間にどのように進路を決めていったかの経緯や行った準備、現在の生活など、進学に際しての資金計画書なども参考に提示していただきながら体験談をお聞きし、第2部では中高生と奨学生がPMJ事務局が補助する中で少人数で相談できる形式でした。個別相談会は時間が足りないくらいだったようでした。

今回、参加いただいた中高生からのアンケートにより、里子さん同士の横のつながりや、里親や児童相談所のほかにも将来について相談できる先が求められていることがわかりました。里子さんに向けての企画や進路に関して考えられる機会など、今後も計画してご案内したいと思います。

7 里親委託費請求書とりまとめの現場から

私のヒーロー・ヒロイン 夫

中央児童相談所
家庭養育推進係 松木 洋子

「委託費処理の現場から」第2弾は、年度末ということで、入園・入学と防災対策に係る費用に関する記事です。

まず、入進学に関する委託費種別は以下の通りです。



<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園入園 → 「幼稚園費」 入園に必要な入学金、保育金、制服等の実費
<ul style="list-style-type: none"> 小中学校入学 → 「入進学支度金」 入学に必要な学用品費等（一律金額）
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校高等部入学 → 「教育費（入学時特別加算費）」 入学に必要な学用品費等（一律金額）
<ul style="list-style-type: none"> 高等学校入学 → 「特別育成費（入学時特別加算費）」 入学に必要な学用品費等の実費（上限額あり）

続いて、防災対策費についてです。

令和3年度より新設された「防災対策費」、毎年度末の3月分（4月10日提出分）のみのお支払いになりますので、請求漏れがないようお気を付けください。「これって防災費になるのかな？」と思われる場合は、購入前に里親の管轄児童相談所にご確認をお願いいたします。

最後に

「私のヒーロー・ヒロイン」について、執筆者からのコメントです。

小林 敏さん「エリック・ハイデン」

「誰？」 知っている人は少ないと思います。レークプラシッド五輪（1980 冬季）でスピードスケートにおいて、短距離から長距離までの出場全5種目で金メダルに輝いた選手。まったくの超人でしたね。こんな人が世の中にいるのかとただただ驚いた記憶があります。

市川理子さん「高校の先生たち」

高校で、色々と刺激が強い先生達に出会いました。女装する、「変人」と言うと喜ぶ、独特なTシャツが普段着、教員と書道家の二刀流、優しくて超パワフル…等々。担任を含めたこの楽しい先生達は私の人生の恩師です。

Aさん「大勢！」

大勢いるので書ききれません。ごっめー————ん☆

上石雅代さん「マイヤ・プリセツカヤ」

ポリショイバレエ団の首席バレリーナで20世紀最高峰のダンサーと言われていています。子どもの頃長野講演で「瀕死の白鳥」を見て、とても感動し将来はプリマバレリーナになりたいと祖父に伝えたところ、祖父から「まーちゃん、物干しざおで星は取れないんだよ」と言われとことを覚えています。その後22歳までバレエを頑張りましたが、やはり物干しざおで星は取れず…！



鎌倉美枝さん「キャンディ（キャンディス・ホワイト）」

明るく前向きな孤児の少女キャンディが、周囲の出自への偏見に負けず成長する姿を描いた漫画の「キャンディ・キャンディ」の主人公。自らの道を明るく前向きに切り開いていくキャンディの姿が印象的作品中のテリウス・G・グランチェスターは私の初恋の人。

片倉宜子さん「トイストーリーのウッディ」

とにかく優しい 唐沢寿明の声が素敵。

柳田和美さん「小田和正」

筋肉の衰えとともに出がちな癖がなく、変わらない澄んだ歌声を維持していることと、新しいことを取り入れ、世代を越えて協働できる姿勢をリスペクトしています。

松木洋子さん「夫」

同い年でありながら、経験豊富な夫。育った国も環境も全く違うせいも、意見が合わないことも度々（笑）ただ、彼の意見を聞くと、「そういう考えもあったか〜」と素直に思えるのが不思議なところ。普段の会話からたくさんの事を学ばせてもらっています。彼のおかげで、新しい夢に向かって邁進できている今、感謝です！

☆「里親だより」は長野県公式ホームページでも御覧になれます。

（トップページからキーワード検索で「里親だより」⇒右記QRコードもご利用下さい）

【URL】 <https://www.pref.nagano.lg.jp/chuojido/satooyatayori.html>

☆発行：長野県里親だより編集委員会

〒380-0872 長野市南長野妻科 282-7 中央児童相談所内

TEL:026-238-8030 FAX:026-238-8025

メール：satoya-shien@pref.nagano.lg.jp

